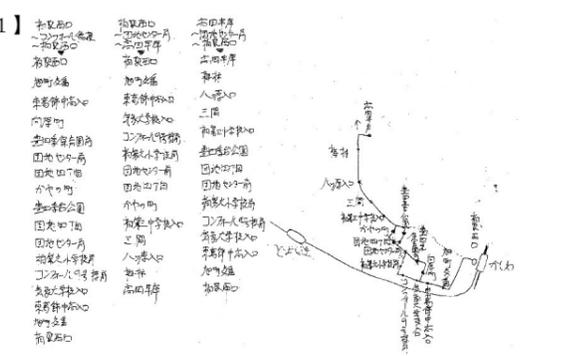
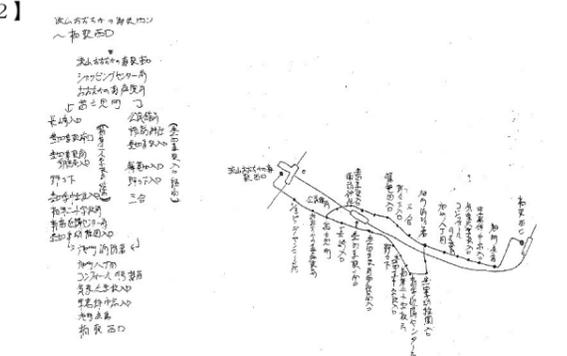
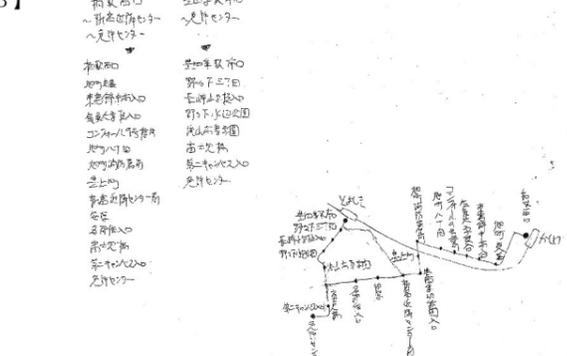


# 柏市地域公共交通計画 パブリックコメントにおけるご意見とご回答

パブリックコメントでいただいたご意見等を以下のように計画に反映いたしました。

●計画書P.70 短期施策Ⅰの施策詳細にシルバーパス実証実験のイメージを追記いたしました。

番号	住所	年齢	意見番号	ご意見	市の考え(案)
1	豊四季	50	1	<p>柏市北西部(西柏(事)管内)のバス路線網の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR常磐線⇄TX線を結ぶ路線が少ない</li> <li>・豊四季駅-路線バス自体がない(流山グリーンバスのみ)</li> <li>・南柏駅西口:路線バスは主に一系統のみ(あとは流山グリーンバスのみ)</li> </ul> <p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏駅~南柏駅</li> <li>・南柏駅~豊四季駅</li> <li>・柏駅~豊四季駅</li> </ul>                     } 交通空白地域 (TX関連による系統廃止のため)                 </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊四季台地:建て替えに伴い居住地域に変化が生じている。</li> <li>・柏駅西口に路線が集中している。</li> </ul> <p>提案の主旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた車の台数でできる編成</li> <li>・駅間(基幹)路線を中心とした編成に</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規需要の開拓</li> <li>・空白地域の解消</li> <li>・分かりやすいバス路線に</li> </ul> <p>交通空白地域(豊四季エリア)の改善案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊四季台地循環線</li> <li>・柏駅西口~高田車庫線 他路線と重複している区間がある(柏中学校~向原住宅) ⇒団地を経由するルートに変更</li> <li>・柏駅西口~免許センター線:柏中学校入口~豊四季幼稚園 ①特に道路が狭い(すれ違いが困難) ②踏切がある</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>アンダーパスを経由するルートに変更のうえ、他方面の路線を新設(おおたかの森方面etc)</p> <p>【付1】</p>  <p>【付2】</p>  <p>【付3】</p> 	<p>バス路線再編による運行効率性の向上に取り組むべく、「地域状況に応じたバス路線への再構築」を当計画の基本方針のひとつとして位置づけています。</p> <p>また、公共交通空白不便地域の解消についても、既存の公共交通機関である路線バスを基軸に、地域の需要に応じた交通環境の整備を検討してまいります。</p> <p>いただいたご意見は今後の検討材料のひとつとして、参考とさせていただきます。</p>
			2	<p>柏駅西口関連再編案</p> <p>①のりば                      柏駅西口~新富近隣センター~免許センター                      柏駅西口~新富近隣センター~流山おおたかの森駅西口                      柏駅西口~豊四季駅入口~流山おおたかの森駅西口</p> <p>②のりば                      柏駅西口~三間~柏の葉公園中央~国立がん研究センター~柏たなか駅                      柏駅西口~三間~県民プラザ~青田~江戸川台駅東口                      柏駅西口~三間~柏の葉公園中央~柏の葉キャンパス駅西口</p> <p>③のりば                      柏駅西口~コンフォール循環                      柏駅西口~団地センター前~高田車庫</p> <p>④のりば                      柏駅西口~松ヶ崎・若柴~柏の葉キャンパス駅東口                      柏駅西口~16号~柏の葉キャンパス駅東口~市立柏高校                      柏駅西口~松ヶ崎循環</p> <p>⑤のりば                      柏駅西口~北柏駅入口~柏たなか駅~市立柏高校                      柏駅西口~北柏駅入口~市立柏病院~東急柏ビル                      柏駅西口~北柏駅入口~三井団地~我孫子駅北口                      柏駅西口~北柏駅入口~布施弁天</p>	

番号	住所	年齢	意見番号	ご意見	市の考え(案)
				<p>・柏の葉キャンパス駅関連 東口～16号～市立柏高校 東口～16号～柏駅西口 東口～若柴・松ヶ崎～柏駅西口 東口～ライフタウン～北柏駅 東口～花野井木戸～大室～柏たなか駅 東口～花野井木戸～東急ピレジ</p> <p>西口～がんセンター～柏たなか駅 西口～がんセンター～青田～江戸川台駅東口 西口～みどり台～江戸川台駅東口 西口～柏の葉公園住宅～青田～江戸川台駅東口 西口～柏の葉公園中央～三間～柏駅西口</p>	
2	みどり台	85	3	<p>短期施策E公共交通空白不便地域における対応策の検討 ○地域の需要に対応した公共施設や商業施設等となっている部分を商業施設、文化施設等へのアクセスを検討とする。 ○施策の詳細 P66 空白不便地域の解消にあたっては、「民間バス路線の再編を基軸とし、これを補充するような施策を導入する」を全面的に書きかえる。バス会社の利害を考慮するのではなく、住民の要求にそったコミバスなどの導入を基本にすることが不可欠である。そのため、次のように書きかえる。 「空白不便地域の解消にあたっては、地域住民の要求を重視し、コミバス、ジャンボタクシーなど気軽に利用できる施策を導入する。」 ○地域住民を主体となった協議会組織に交通事業者の参加は必要としない。理由は、不便地域の解消にあたって民間バス路線の再編を基軸するような制約されたものとし、それが基本であり、交通事業者の参加は必要としないものである。</p>	<p>短期施策Eでは公共交通空白不便地域の解消を目標に取り組みを掲げており、各地域において需要の高い施設へのアクセスを検討していくことが重要と考えています。 市内の公共交通については、既存の路線バス網が充実していることから、これを基軸とし、それを補完するものとして、コミュニティ交通の導入を検討してまいります。 新たな移動手段を導入する際は、運行を担うバス事業者やタクシー事業者との調整は不可欠であり、地域、交通事業者、市が連携しながら取り組みを進めてまいります。</p>
3	みどり台	70	4	<p>p.1 1.1計画策定の背景と目的 柏市地球温暖化対策計画では、運輸部門の2030年までの温室効果ガス削減対策として、公共交通の利用促進が位置づけられています。本計画の2027年までの短期計画は、温暖化対策の2030年までの削減目標を達成するうえでも重要な期間であり、これらを考慮すべきことと考えます。従って、背景と目的として、交通施策上の法律だけでなく、地球温暖化対策関連の法律の要請からも本計画の策定が必要であることを付加すべきと考えます。</p>	<p>公共交通は環境面だけでなく、まちづくりや福祉、観光振興など、様々な分野と関連がありますが、ご意見のとおり、環境面での公共交通の利用促進も重要な視点であると考えています。 このため、2ページに掲載している図1-1において、当計画と「柏市環境基本計画」などの関連計画との関係を整理しています。 当計画の推進にあたっては、各関連計画との連携も図りながら、取り組みを進めてまいります。</p>
			5	<p>p.64 短期施策D. コミュニティ交通の利便性向上 施策概要欄：「地域の移動需要に応じた」の前に、「地域住民との懇談などを行い」の付加が必要と考えます。 理由：地域の移動需要は、住民が求めるものであり、また、現需要だけでなく、生活の変化による需要や意識も変化しますので、常に、運営協議に住民の参加が必要と考えます。 実施主体の欄：地域住民を付加すべきと考えます。 理由：同上</p>	<p>コミュニティ交通の利便性向上のためには、これを利用する地域住民の意見や地域の移動需要の変化を把握し、必要に応じて事業を見直ししていくことが必要と考えています。 そのためには、アンケートやヒアリング、ワークショップなど、地域住民にとって過度の負担とならないよう、その地域に適した手法を選択し、需要把握に努めてまいります。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
			6	<p>p.66 短期施策E 公共交通空白不便地域における対応策の検討 施策詳細の欄：地域住民が主体となった協議会組織に柏市及び交通事業者も参画して、協議を進めます。とありますが、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の第四条 3 市町村は、公共交通事業者等その他の関係者と協力し、相互に密接な連携を図りつつ主体的に地域旅客運送サービスの接続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生に取り組むよう努めなければならない。 とあるように、あくまでも主体は、柏市であると考えます。もちろん運営協議会には、地域住民も積極的に参画する必要はあると考えます。</p>	<p>市ではこれまで公共交通紅白不便地域の解消に向けて、各地域ごとにアンケートやヒアリングを行い、その中で相談のあった町会と協議を重ねた結果、地域主体の買物支援タクシー「とねっこタクシー」、 「やよいタクシー」の実証運行が始まっています。また、別の自治会では、地域主体のコミュニティバスの実証運行に向けた準備が進められています。 今後もこのような取り組みが他の公共交通空白不便地域にも展開できるよう、市では「コミュニティ交通導入の手引き」の策定を進めております。この「手引き」を活用し、地域が抱える交通課題について、町会や自治会などから市に相談いただき、市単独ではなく、地域・交通事業者・市が連携しながら、地域が抱える交通課題の解決に取り組んでいきたいと考えています。 いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
7	<p>p.82 表8-1 短期指標と目標 と p.83 表8-2 中長期指標と目標 高齢化や地球温暖化の対策として公共交通の利用促進が求められており、全体的に短期目標と長期目標を、積極的に引き上げる必要があると考えます。 短期目標（2027年） ・施策概要A 公共交通軸の強化では、本計画の目標は現状の維持となっているが、議会でもとりあげられているように増便要望があり、応えるならば利用者数のアップが得られると考える。 ・政策概要D コミュニティ交通の利便性向上では、現状の利用者数約44000人を目標50000としており、別のルートを増やすなど、積極的なとりくみとすべきと考える。 ・政策概要E 公共交通空白不便地域における対応策の検討では、現状の2事業から5事業へと5カ年で3事業の増しかありませんが、もっと積極的にコミュニティバス等も含め拡充を図り空白地域を解消する必要があると考えます。 中長期目標（2037年） 短期目標値と大きく違わなく、積極的な目標を立てる必要があると考えます。</p>	<p>[短期指標と目標] 短期施策Aについては、新型コロナウイルス感染症流行による生活様式の変化や、全国的な課題となっている運転士不足により、既存の路線バスの利便性を維持していくことが難しくなっています。このため当計画の評価指標では、現状のサービス水準を維持していくことを目標として設定しています。 短期施策Dについては、新型コロナウイルス感染症流行前の水準への回復を目標としており、地域の移動需要に応じたルートの見直しなどを検討してまいります。 短期施策Eについては、現状の2事業を継続しつつ、新たな事業の導入を目指してまいります。市では「コミュニティ交通導入の手引き」を活用いただき、地域が抱える交通課題について町会や自治会などから相談いただくことで、各地域の需要に応じた移動手段確保に努めてまいります。 [中長期指標と目標] 短期施策と同様の考え方から、利便性や利用水準の維持を目標としています。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>			
4	柏	74	8	<p>P.83 中長期指標と目標について ユニバース社会に対応した交通環境の構築の「高齢者の移動支援」は、市長公約の「シルバーパス」も位置付けているのでしょうか。中長期目標（2028~2037年案）では気の遠くなる話であり、この施策は「短期指標と目標（2023~2027年度）」に位置付けてください。急ぐべき課題です。</p>	<p>シルバーパスについては、短期施策Iおよび中長期施策mに位置付けております。 まずは市内南部地域で運行している「ワニバス（逆井・沼南・南増尾コース）」に、実証実験としてシルバーパスを導入し、運用上の課題や事業の効果等について検証してまいります。 70ページ短期施策Iの施策詳細欄にシルバーパス実証実験のイメージイラストを追記します。</p>
5	柏の葉	77	9	<p>短期施策E公共交通空白不便地域における対応策の検討 不便地域が存在しておりこれを解消することが必要とあります。この計画を早急に実現する為、住民との心からの話し合いをお願いしたいと思います。民間のバス増便は基より、地域住民の”足”となるコミュニティバス等、高齢者が免許証返納をしやすくする為にも福祉の観点を見すえて欲しいと、切にお願い申し上げます。柏に住んでいてよかったと思える街づくりを切望します。</p>	<p>市ではこれまで、公共交通紅白不便地域の解消に向けて、各地域ごとにアンケートやヒアリングを行い、その中で相談のあった町会と協議を重ねた結果、地域主体の買物支援タクシー「とねっこタクシー」、 「やよいタクシー」の実証運行が始まっています。また、別の自治会では、地域主体のコミュニティバスの実証運行に向けた準備が進められています。 今後もこのような取り組みが他の公共交通空白不便地域にも展開できるよう、市では「コミュニティ交通導入の手引き」の策定を進めております。この「手引き」を活用し、地域が抱える交通課題について、町会や自治会などから市に相談いただき、市単独ではなく、地域・交通事業者・市が連携しながら、地域が抱える交通課題の解決に取り組んでいきたいと考えています。 いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>

番号	住所	年齢	意見番号	ご意見	市の考え(案)
6	西原	75	10	西原・西柏台・みどり台・伊勢原など公共交通が行きわたらず、不便地域となっております。同地域は高齢化も進み、車の免許返納により車にも乗れなくなり、足が不自由で自転車にも乗れず、通院するにもタクシーを利用せざる得ず往復4千円の交通費も掛かり、生活を圧迫している実態もあります。そのため家に引きこもることも多くなり、毎日が孤独な生活を送らざるをえません。この地域で健康で心豊かな生活を送るためには、公共交通を便利に使えることが重要です。これは憲法でも保証されている「人権」を守るという最低の権利を守る大事なことだと思います。住民の意見を十分耳を傾けて頂きたいと思います。	市ではこれまで、公共交通紅白不便地域の解消に向けて、各地域ごとにアンケートやヒアリングを行い、その中で相談のあった町会和協議を重ねた結果、地域主体の買物支援タクシー「とねっこタクシー」、 「やよいタクシー」の実証運行が始まっています。また、別の自治会では、地域主体のコミュニティバスの実証運行に向けた準備が進められています。今後もこのような取り組みが他の公共交通空白不便地域にも展開できるよう、市では「コミュニティ交通導入の手引き」の策定を進めております。この「手引き」を活用し、地域が抱える交通課題について、町会や自治会などから市に相談いただき、市単独ではなく、地域・交通事業者・市が連携しながら、地域が抱える交通課題の解決に取り組んでいきたいと考えています。いただいたご意見については、参考とさせていただきます。
7	松葉町	72	11	コミュニティバスについて、〇〇町から柏駅へのバス経路はあるが、横へ行くバス経路が無く、一度、柏駅にたどりいてから、バスを乗り換える。この事によって時間とバス代がかさむ。地域性もあるが、住民の意見を良く聞き、公共施設、病院、スーパー経由なら、バスも使いやすい。住民の求める移動手段があるなら、コミバスも、人が乗るでしょう。又、地域おこしの要となるよう、バスを運行して欲しいものです。	当計画ではフィーダー系バス路線（幹線以外のバス路線）の路線見直しについても施策として位置付けており、地域の移動需要の変化に応じて、路線バス事業者と路線見直しの可能性を検討してまいります。コミュニティ交通については、公共交通空白不便地域において、路線バスを補完する移動手段として検討してまいります。いただいたご意見については、今後の検討にあたっての参考とさせていただきます。
8	西原	75	12	①高齢化とそれに伴う免許返納により、出来るだけ自宅の近くから公共交通にアクセスできるものとして、「カシワニクル」の利用出来るエリアを大幅に増やして下さい。	予約型相乗りタクシー「カシワニクル」は、公共交通空白不便地域である市内東部地域において、路線バスを補完する移動手段として導入しています。他の公共交通空白不便地域で、新たな移動手段導入を検討するにあたって、一つの選択肢となりますが、地域の移動需要との整合や経済性なども考慮しながら検討してまいります。
			13	②地球環境危機対応の観点からも歩道と自転車道路の環境を整えて下さい。	歩道整備については、道路を整備する際の検討の中で、自転車の通行環境整備については、当計画とは別に「柏市自転車総合計画」を定めています。いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
			14	③出来るだけ全てのバス停にベンチと屋根を設置して下さい。バス停の時刻表の文字を大きく見易く、真っ暗なバス停には防災の観点から電灯を設置して下さい。	主要なバス停への上屋設置については、路線バス事業者に要望するとともに、交通結節点である鉄道駅のバス停については、短期施策G「駅前広場の待合環境整備」を位置づけており、整備を進めてまいります。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
9	みどり台	68	15	柏市地域公共交通計画のP66【施策詳細】において、『なお、公共交通空白不便地域等における～』とありますが、このような地域はそもそも住民構成は65歳以上が65%を超える地域と想定できるかと考えます。そんな地域に対して、【主体：住民組織】ということは可能でしょうか？そうできないから空白地帯に甘んじているのです。これは将来は形を変えた、いわば人里離れた姥捨て山になってしまいます。従ってこの項目は《主体は柏市として地域住民の協力を得た協議組織で検討を進めます》と書き改めることが必要です。是非ご検討、よろしくお願ひいたします。	市ではこれまで、公共交通紅白不便地域の解消に向けて、各地域ごとにアンケートやヒアリングを行い、その中で相談のあった町会和協議を重ねた結果、地域主体の買物支援タクシー「とねっこタクシー」、 「やよいタクシー」の実証運行が始まっています。また、別の自治会では、地域主体のコミュニティバスの実証運行に向けた準備が進められています。今後もこのような取り組みが他の公共交通空白不便地域にも展開できるよう、市では「コミュニティ交通導入の手引き」の策定を進めております。この「手引き」を活用し、地域が抱える交通課題について、町会や自治会などから市に相談いただき、市単独ではなく、地域・交通事業者・市が連携しながら、地域が抱える交通課題の解決に取り組んでいきたいと考えています。いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。